

# 学校開校 準備委員会 NEWS No.19

令和4年10月 榎尾中学校区学校開校準備委員会

## 第16回 学校開校準備委員会のご報告

令和4年10月4日（火）第16回学校開校準備委員会を開催しました。

今回は、制服・校章の検討、教育内容（英語教育）、放課後の過ごし方の充実などについて、説明と意見交換を行いました。

### 1. 制服の選考について

- 7月実施のアンケート結果なども踏まえ、プラン①（2つボタン、プラン②よりも低価、ボトムス緑系など）とし、ネクタイ・リボンも導入することとしました。

	回答	制服		ネクタイ・リボン	
		プラン①	プラン②	必要	不要
児童生徒	124	74 59.7%	49 39.5%	24 72.7%	9 27.3%
保護者	128	73 57.0%	50 39.1%	85 73.3%	31 26.7%

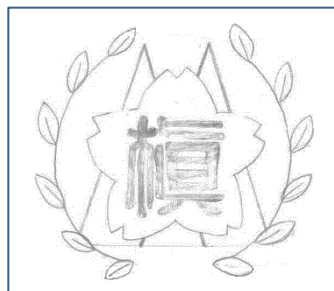
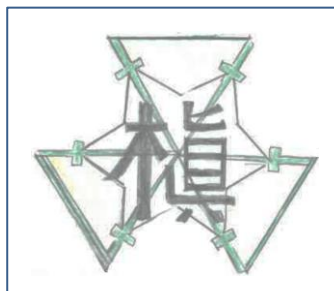
※回答率 児童生徒 34.4% 保護者 43.8%  
 ※一部選択無しの場合あり  
 ※ネクタイについての質問は保護者、中学生のみ

（運用について）

- ボトムスはズボン、スラックス、スカートのいずれかを選択をできるようにする予定です。
  - ネクタイ・リボンは後期課程で着用
  - 前期課程の上着を後期課程でも継続着用することは可
- 以上は10月現在での方向性です。引き続き、運用、ルールなどは検討していきます。

### 2. 校章の検討状況について

- 校章の検討では、まず榎尾中学校区の各校で児童生徒がデザイン案を考え、それらの中から校内で3～5点を選定しました。
- 各校から選定された計13点の児童生徒のアイデア、デザイン案について準備委員会にて協議し、4点を選出しました。



- 今後、児童生徒によるアンケートにより、これら4点の中から1点選出し、デザイン原案として最終的なデザイン化を行います。

### 3. 教育内容（英語教育）について

（仮称）槇尾学園では特認校として教育内容の特色や魅力づくりの検討を進めています。今回の学校開校準備委員会では、その一つである「英語教育の充実」についての検討状況やその内容に関する説明と共有を行いました。特に開校前から段階的に実施していく内容の一つとして、来年度からの導入に向け検討を進めている「授業時数特例校制度」の説明を行いました。

#### 【特色ある英語教育・カリキュラム（イメージ案）】

- ◎ 1・2年生から外国語教育をスタート
- ◎ 授業時数特例校制度（文部科学省の指定）により英語の授業時数を標準の時数よりも多く設定
- ◎ 一部教科を英語で実施
- ◎ ALT（外国語指導助手）の配置を増やし日常的なコミュニケーションを充実
- ◎ 後期課程教員や加配教員等による前期課程での専科指導

#### 授業時数特例校とは…

学校や地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するため、授業の総時数を確保した上で、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成や探究的な学習活動の充実に資するよう、学校裁量により教科等ごとの授業時数の配分について一定の弾力化による特別の教育課程の編成を認める制度

#### 【R5 実施イメージ】

小学校 5・6年生 英語授業 年間 70 時間 + 10 時間

中学校 1～3年生 英語授業 年間 140 時間 + 10 時間

※ 一部教科の時数を減じ、英語に充てますが学習内容の削減はしません

増時間では、英語によるコミュニケーションや活用を中心としたプログラムを実施

豊かな言語能力等を育成

### 4. 放課後の過ごし方について

（仮称）槇尾学園では児童生徒の放課後の過ごし方についても、民間による習い事などの検討を進めているところです。今回は、7月に実施したアンケートの結果の共有とともに意見交換を行いました。

#### 【アンケート結果】

	「はい」、「どちらかといえばはい」を合わせた回答
放課後の学校に、関心のある学習や文化、運動を学べる、体験できる場があれば利用させたい。	96.4%
有料でも関心のある学習や文化、運動を学べる、体験できる場があれば利用させたい。	86.9%
放課後の学校に、民間事業者による習い事(学習塾以外)があるのは有意義だ。	95.2%
放課後の学校に、民間事業者による学習塾のような学習する機会があるといい。	89.9%
放課後の学校に、英語など語学を学べる機会があるといい。	94.6%
放課後の学校に、運動する機会があるといい。	95.9%
放課後の学校に楽器や音楽にふれる機会があるといい。	84.9%

#### 【意見交換での意見】

- ・学校内で習い事などがあるのは安心。
- ・選択肢が広がるのは良い。
- ・専門性など、民間のメリット大きい。
- ・中学生は利用できるのか。
- 部活の休みの日に設定するなど、利用できる工夫を検討しているところ。

- ・地域にも習字や空手など教えられる人材がいるので地域人材として活用することも大切。
- ・地域で教えている人に学校に来てもらうのもいいのでは。
- ・地元と学校の習い事の選択が悩ましい。
- ・既存の部活動はなくなるのか。
- 開校までの間に加入状況や休日部活動の地域移行の状況を見ながら調整していく予定。

※ 通学バスについては、調整が整い次第、意見交換などを行えるよう進めています。

※ 次回の準備委員会は12月頃の開催予定です。「PTA 関係」「校歌」などについて説明・意見交換を予定しています。

#### ニュースレターをメール配信中！

このニュースレターの受取りを希望される方は、右記 QR コードを読み取っていただき、氏名、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。



#### 【お問合せ】

教育・子ども部 教育総務課 〒594-8501 和泉市府中町 2-7-5 (TEL)0725-99-8196 (E-mail) m-junbi-iinkai@city.osaka-izumi.lg.jp